

令和4年度 長野県中学校総合体育大会 北信地区大会 剣道競技 実施要項

- 1 主 催 北信中学校体育連盟
長野市教育委員会、須坂市教育委員会、更埴郡市教育委員会連絡協議会
上高井郡町村教育委員会連絡協議会、中高地区教育委員会連絡協議会
上水内郡教育委員会協議会、飯水地方教育委員会連絡協議会
- 2 主 管 北信地区各郡市中学校体育連盟剣道専門委員会
- 3 期 日 令和4年 6月18日(土) 女子個人、男子個人
25日(土) 男子団体予選リーグ
26日(日) 女子団体、男子団体決勝トーナメント
- 4 日 程

女子個人	開場・受付	8:00	監督会議	8:50	開始式	9:10			
	競技開始	9:40	終了式	11:25	解散	11:40			
男子個人	開場・受付	12:10	監督会議	13:00	開始式	13:30			
	競技開始	13:50	終了式	16:15	解散	16:30			
男子団体	開場・受付	7:30	監督会議	8:20	開始式	8:40			
予選①	競技開始	9:10	終了式	11:50	解散	12:00			
男子団体	開場・受付	12:30	監督会議	13:20	開始式	13:40			
予選②	競技開始	14:10	終了式	16:50	解散	17:00			
女子団体	開場・受付	7:30	監督会議	8:20	開始式	8:50			
	競技開始	9:10	終了式	12:20	解散	12:35			
男子団体	開場・受付	13:20	監督会議	14:10	開始式	14:40			
男子団体	競技開始	15:00	終了式	16:20	解散	16:35			
- 5 会 場 長野市立松代中学校体育館
- 6 種 目 男女個人戦および団体戦
- 7 出場制限 個人戦への出場は各校7名以内とする。ただし3年生が8名以上いる場合は、3年生の人数分参加することができる。その場合は2年生以下の選手は参加できない。
- 8 チーム編成 団体戦 監督1名 選手5名 補員2名以内とする。
 - ①引率者・監督は当該校の校長・教員・部活動指導員※1とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、「参加申込書」の監督者及び引率者の欄に指示されている印を付け、必要事項を記入する。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。※1ここでいう「部活動指導員」は学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。以下同じ。
 - ②令和4年度大会より、外部指導者の監督を認める。外部指導者が監督を務める場合は「指導者承認書」を当日の受付で提出する。
 - ③引率者、監督、部活動指導員は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。(左記については別に定める対応に準拠する)
- 9 競技方法 個人戦 トーナメント方式 団体戦 予選リーグ 決勝トーナメント
※団体決勝トーナメントは各リーグ1・2位による。※男子は3位まで。

10 競技規則 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、同細則ならびに日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項に準じた北信中学校体育連盟剣道専門委員会申し合わせ事項により行う。

11 その他

○試合時間は3分3本勝負とし、団体戦の延長戦は行わない。個人戦は上位16名の選手が決定するまでは2分間の延長の後、判定とする。上位16名決定以降は勝負が決するまで2分間の延長戦を繰り返し行う。延長戦は2回ごとに小休止（その場）と大休止（面を外す）を交互に挟む。

○団体戦の勝敗は、①勝者数 ②取得本数の多い方を勝ちとする。

○リーグ戦は勝ち点1点、引き分け0.5点を与え、得点の多い方を上位とする。順位決定で同点の場合は①総勝者数②総取得本数が多い方を上位とし、同数の場合は代表者戦を行う。代表者戦は3分1本勝負とし、勝負が決するまで2分間の延長戦を繰り返し行う。延長戦は2回ごとに小休止（その場）と大休止（面を外す）を交互に挟む。

○紅白の目印は各校で準備をする。

○競技中の怪我については、応急処置は行うが、その後は各校で対応をすること。

○暑い時期であるため、水分補給を適宜行い、熱中症予防に努める。

○竹刀検量は、ちくとう部の検査も実施する。※詳細は全日本剣道連盟 HP 参照 →



不合格にならないよう、各校で事前に確認をしてくること。

○表彰は個人戦、団体戦とも4位までとする。

○県大会出場は個人戦男女各上位8名、団体戦男女各上位4校とする。

○組み合わせは専門委員会において責任抽選の上決定する。

個人戦：新人戦の結果によりシードを決定する。1回戦は極力同地区の対戦を避け、同校の選手がベスト8以前に対戦しないよう組み合わせる。

団体戦：新人戦の結果によりシードを決定する。予選リーグについては地区が均等に分かれるよう配慮する。決勝トーナメントの抽選は当日行い、同リーグの学校とは決勝まで対戦しないようにする。

○申し込みおよびその他

①《様式1》の参加申込書（事前）を、6月3日（金）正午までに北信地区剣道専門委員会にメールにて提出する。

②《様式2》の参加申込書（当日）を、大会当日受付に提出する。（職印必要）

③《様式3》の団体戦登録用紙は、大会当日受付に団体戦選手表（別記）とともに提出する。

参加申込先 北信地区剣道専門委員会 n.kendo.2021@gmail.com

○大会当日受付にて大会参加費として選手一人につき500円を徴収する。個人戦・団体戦ともに出場する選手は、受付の早い方の部門で参加費を支払う。

○大会当日受付に団体戦選手表を提出する。A4用紙2枚を横向きに張り付け、各校で作成する。姓のみを書き、同姓の場合は名前の一文字を右下に入れる。

校名	(先鋒)	(次鋒)	(中堅)	(副将)	(大将)
性別	姓	姓	姓	姓	姓

A4横向き

A4横向き

----- 北信中学校体育連盟剣道専門委員会申し合わせ事項 -----

1. 全日本剣道連盟試合・審判規則、同細則、令和4年度日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項に準じた本大会申し合わせ事項をもとに行う。
2. 紅白の目印(5×70 cm)は各校で準備する。番号の早いチーム(個人)を赤とする。
3. 団体戦の補員は欠員の出た位置へ出場する。選手変更は審判長(又は競技委員長)に申し出る。一度退場した者は最後まで復帰できない。オーダーの変更は認めない。
4. 竹刀は計量検印をうけたものを使用する。検印のないものを使用した場合は、相手の2本勝ちとする。また、異物を入れたもの、テープを巻いたものなどの不正竹刀を使用した場合も同様とする。竹刀の柄革に学校名、氏名を記入する。記名のないものは不合格となる。
5. 竹刀の長さは3.7尺(114 cm)以内、重さは男子440g以上、女子400g以上、先革の太さは男子25mm以上、女子24mm以上で、長さ5cm以上とする。ちくとう部(竹刀先端より8.0センチメートルのちくとう対角最小直径)の太さは男子20mm以上、女子19mm以上とする。
6. 竹刀のつばは直径9cm以下、茶色又は革色を使う。柄革に滑り止めのあるものは禁止する。
7. 垂名札には校名(〇〇中)と姓を入れる。同姓の場合は名前の一字を入れる。ついていない選手の出場は認めない。
8. 試合途中での医療行為は治療必要の判断から5分間以内とし、それ以降は不戦負けとする。
9. 選手が転倒した場合は一呼吸おいて「止め」をかける。危険な場合には直ちに止める。
10. 突き技は禁止とし、反則とすることもある。片手技は有効としない。
11. 面ひもの長さは結び目よりさがりが40 cm以内とする。
12. 試合前に円陣を組むこと、選手交替の際の胴突き等の行動はしてはいけない。
13. 応援は声を出さず拍手を基本とする。審判に故意に強要するようなことはしない。
14. 試合場への時計およびストップウォッチの持ち込みを禁止する。
15. 団体戦は3名以上で出場を認める。3名の場合には次鋒、副将を欠員にする。4名の場合には次鋒を欠員とする。
16. 個人戦で試合が続く場合は、3分間の休息时间をとることができる。
17. 装飾及び刺繍は、大きさ・色・模様を含めて華美にならないようにする。
面乳革の色は黒・紺とする。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための申し合わせ事項

1. 試合者は、試合中にマウスシールドを着け、面マスクで口鼻を隠す。
2. 延長戦を行う場合は2分区切りで行う。延長戦は2回ごとに小休止（その場）と大休止（面を外す）を交互に挟む。
3. 意図的な「時間空費」「防御姿勢（勝負の回避）」による相手に接近する行為を反則とする。
 - ①打突をせずに構えを崩した状態で相手に接近しない。
 - ②近間の攻防において、有効打突につながらない打突をしない。
4. 「鏝競り合い」を行わない。
 - ①やむを得ず「鏝競り合い」になった場合は、審判員の「分かれ」を待たずに、試合者がお互いにただちに分かれるように努める。
 - ②「鏝競り合い」から引き技は出さない。
ただし、接触した瞬間の引き技及び体当たりからの技（発声を含む）は認める。
5. 「鏝競り合い」から分かれる際には、以下の点に留意する。
 - ①一歩ずつ数回に分けて下がろうとせず、速やかに間合いを切る。お互いの剣先が完全に触れ合わない位置まで下がる。
 - ②相手の竹刀を故意に裏交差にしたり、払ったりすることはしない。
 - ③相手が下がるのを待たず自分も必ず下がる。また、下がろうとしている相手に近づいていかない。
 - ④分かれている途中の打突、下がっている相手を追い込んでの打突はしない。

感染対策に関わるお願い

- 本大会は無観客を原則とします。ただし3年生の保護者に限り子どもの出場する日に1家庭1人限定で観戦できます。観戦する場合は各校で取りまとめ「保護者健康確認用紙」を当日受付で提出してください。不特定多数との接触を避けるため、保護者は生徒の荷物置き場へは行かないようにしてください。また、同性生徒も観戦可能です。
- 参加者は家を出る前に必ず検温を行い、各校顧問は取りまとめたものを受付に提出してください。
生徒用→生徒健康確認用紙 保護者用→保護者健康確認用紙
- 以下に該当する選手、保護者、役員は会場への入場はできません。
 - (ア) 基礎疾患のある方
基礎疾患のある方とは「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患のある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」をいいます。
 - (イ) 発熱のある方
個人差はあるが一般的には「37.5℃以上」を基準とします。平熱の高い方などは当日受付で相談してください。本部長、競技委員長、顧問、救護係で参加について検討します。
 - (ウ) 咳、のどの痛みなど風邪のような症状がある方。その他体調の良くない方。
 - (エ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - (オ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- 会場内では手洗い・アルコールによる手指の除菌を行い、マスクを着用してください。
- 試合待機者は、ソーシャルディスタンスを保って待機します。会場での指示に従ってください。
- その他、長野県剣道連盟より示されたガイドラインに基づきます。